

# 3年学年通信



2016年11月7日

尾張旭市立東中学校  
3年主任 福田 米造  
東中学校ウェブサイトもご覧ください。  
<http://www.owariasahi.jp/higashi-j/>

## 《最後のフェスティバルを終えて》

中学校最後の「フェスティバル」がエンディングセレモニーを最後に幕を閉じました。先日の合唱祭では、どのクラスもリハーサルの時よりも、数段アップした感動の発表を披露することができました。また1年前の課題である聴く態度・姿勢にも改善が見られ、発表を聴く側としても良かったように思います。文化祭、体育祭、合唱祭とフェスティバルは進んできましたが、皆さんにとって中学校時代の最高の思い出になってくれたら幸いです。

## フェスティバルの感想と反省を紹介します。

### 「あなたへ」

私は1,2年の合唱祭で後悔をしてきました。声が出なかったり、思うように歌えなかったり、毎年嫌な思いをしてきました。今年は「あなたへ」という学年で1番人気だった曲なので、「絶対に成功させたい！」と思っていました。本番の合唱祭では今まで以上に気持ちを込めて歌えて、声がそろった時は自分でも感動しました。聞いている人たちに伝わったかどうかは分からないけど、この曲をこのクラスで歌うことができて良かったです。後悔はありません。

3A 小高 優

### 「Only one」

A組は、普段は騒がしくて、いつもふざけている人ばかりです。体育祭の練習ではみんなふざけていて本番はすごく心配でした。そんなA組が、本番ではみんなまじめに競技に参加し、練習の時とはちがう真剣なA組の姿がありました。初めは、全くまとまりのないA組でしたが、体育祭で団結できたおかげで総合優勝ができました。本当にうれしかったです。A組で本当に良かったと思います。A組のみんなありがとう。

3A 中條 麻衣

### 巡り会えた仲間と

希望の曲がことごとく外れ、最後に巡り合った「君と見た海」という曲。波を表現した単調な伴奏と歌を合わせるのがとても難しく、ずれてしまう日々が続きました。けれど本番当日は、ずれることもなく、みんなの一体感や集中力、高揚した気持ちが、押し寄せる波のように迫って来るのを感じました。

中学校生活最後、3年B組の仲間との出会い、合唱祭を迎えられたことに感謝しています。残された中学校生活を、大切に過ごしていきたいと思います。

3B 名原 夕稀

### 最後のフェスティバル

文化祭、体育祭、合唱祭、1つ1つの行事が終わっていくごとに3Bの団結力は強くなっていきました。特に体育祭ではクラスの絆を感じる場面がたくさんありました。何度も何度も練習した大縄。クラス全員が声を出して応援したり。どれも私の大切な思い出です。合唱祭では3Bの「つながり」を感じました。練習で注意されていた部分もしっかりと歌い上げ、たくさんの人を感動させるような歌にすることができました。3B全員が互いを信じ合い、つながった瞬間でした。何事にも全力で取り組む3Bが大好きです。

3B 加藤 菜々子

### 中学3年生へ

私たちのクラスが歌った「春に」は、思春期のもどかしさをいろいろな物に例えて歌った、1年生でも2年生でもなく、3年生が歌うことに意味がある、そんな歌詞でした。

この曲は音程も取りにくく、歌い始めなどで入るタイミングがとても難しかったです。指揮を工夫してもらったり、伴奏を合わせてもらったり、様々な問題を乗り越えてクラス全員で作上げたこの曲に誇りがもてます。最後の合唱祭にふさわしい歌声だったと思います。

3C 佐伯 優来

### 合唱祭を終えて

C組の歌った「春に」は、全体的に音を取りにくく、パートごとにタイミングが違い、とても難しかったです。なかなか上手に歌えませんでした。朝や放課に繰り返しCDを聞いたり、居残り練習をしたり、言葉の意味を考えたりと、練習を重ねるうちにアカペラでも上手に歌えるようになりました。

本番では、ホールが大きいので少し不安でしたが、練習通りに歌うことができ、最高の発表になったと思います。

3C 大野 峻太郎

### ～友～39+1

中学校生活最後の大きな行事、3年D組は練習から一生懸命に取り組み、パート練習を重ねるたびに少しずつ成長していきました。その成果もあり、合唱はとてもいい作品になりました。他のクラスであるにも関わらず、3Dを一生懸命に見てくださった彦田先生は「歌が指揮者の思いに応えようとしていた」と愛のある言葉をくださいました。フェスティバルを通して3Dはたくさんの人に支えられ、強い団結と大きな大きな成長を手に入れることができました。

残り少ない学校生活、最高の仲間と最高の思い出を作っていきたいです。

3D 堀 瑞希

### 僕らをつなぐ歌

フェスティバル最終章、合唱祭が終わりました。何をとても最後となる3年生、最高のものを作ろうと、どのクラスもきつと精いっぱい練習に取り組んできたと思います。私たちD組も、授業、帰りのSTの他にも、放課を使って、問題点を改善する努力をしました。そして本番、足が震えてしまった人もいたようですが、歌詞の一つ一つを大事に歌えていたと思います。D組をつなぐ、忘れられない歌になりました。

3D 中島 万由子



### 「賞」がなかったって全力だ

「3E 全力でいくぞー！」「オオー！」今までやってきたことを、歌声や音色で全校生徒に届けよう。クラス全員がそう言っているように感じました。合唱祭は、文化祭や体育祭に比べて全力でやろうという人が少ないと思います。その理由の一つに「賞」がないからという人が多いことです。しかし、私達3Eは、授業後に残ったり、家で個人練習をして、合唱祭に全力を尽くしました。

この先は大きなフェスティバルはないけれど、3Eで過ごす1日1日を大切な思い出にしていきたいです。

3E 西岡 紗良

### Best memory

3年生では、3E優勝を目指して、休み時間を使って3E全員で「大縄ジャンプ」を頑張ってきました。そして本番は全員が本領を発揮して頑張りました。「大縄ジャンプ」で2位になってとてもうれしかったです。結果発表で「1位・・・G組」が呼ばれたときに「ああ終わったと・・・」と思いました。でも「2位・・・E組」と言われたときにすごくうれしくなりました。さらに、今年初めての縦割りの総合で優勝することができ、最高の体育祭になりました。

3E 崎山 萌恵

### 合唱祭を通して

私のクラスでは合唱祭の練習中にふざけたりする人もいて不安が大きかったですが、だんだんいろいろな人の声が聞こえてきて、私もしっかりと声を出せるようになり、前日の練習では声がまとまって聞こえていて、本番が楽しみになりました。しかし、合唱祭の当日、体調を崩してしまい、皆と歌えずとても悔しかったです。だけど、皆の歌っている動画を見て、今までの何倍も声一つになっていて、とても感動させられました。

そして合唱祭で学んだ一つのことを皆で作りに上げることの大切さを忘れないようにしたいです。

3F 松尾 葵姫

### 合唱祭を終えて

3Fのフェスティバルの準備は毎回万全とは言えなかったと思います。歌詞を大きな紙に書いていなかったり、伴奏がうまくいかなかったり、たまに「やりたくない」「ばかばかしい」といった声が聞こえたりしました。

しかし・・・

私の個人的感想を短歌にしました。

「フェスティバル やる気がないと 言ってたけど  
やればできるの ハッキリわかった」

F組は「YDC」やればできるクラスだと思いました。

3F 貝沼 悠偉

### 支えがあったからこそ・・・

1年に1回しかない合唱祭。「みんなに心から楽しんでほしい」僕は合唱祭委員として同じ委員の仲間と協力し合って、裏方の仕事を進めました。

その結果、みんなが支えてくれたことや、みんなで力を合わせたことによって、無事に合唱祭を成功させることができました。

裏方の仕事は、決して目立つ仕事ではなかったけれど、みんなの楽しそうな笑顔を見たとき、自分の苦労は報われたと、とてもいい気持ちになりました。

3G 武藤 紘東

### 合唱祭を終えて

先日行われた合唱祭でとても驚いたことがありました。まさか曲の途中で拍手をもらうとは思いませんでした。今までピアノの練習を頑張ってきた自分、クラスの皆との練習を思い出し、感極まり、涙が出そうになりました。

中学校生活における最後の合唱祭が私にとって一生残る思い出となりました。

3G 横井 里菜

